

報告

第29回北海道医療・福祉関係 職能団体等懇談会

常任理事・医療関連事業部長 藤井 美穂

1月25日(金)午後6時から札幌市において、医療・福祉関係職能団体等懇談会が開催され、27団体、62名にご参集いただいた。

長瀬会長より「各団体が揃うのは年に1回しかないが、それぞれの考え方や実態を聞くことができ非常に参考になる。今日はせっかくの機会なので、遠慮せず思っていること



を述べてほしい。超高齢化社会を迎えている今、医療関係者が一丸となって協力していかなければならない」との挨拶があった。また、本年度から参画いただくこととなった、北海道歯科医師会、北海道歯科技工士会、北海道歯科衛生士会を紹介した後、北海道臨床衛生検査技師会の田上稔副会長が「精度管理事業と施設認証制度について」をテーマに、北海道消化器内視鏡技師会事務局の佐藤貴幸氏が「消化器内視鏡技師の実態」をテーマに、北海道診療情報管理研究会の初山貴幹事が「北海道診療情報管理研究会の活動について」をテーマにそれぞれ話題提供を行った。



■話題提供

(1)「精度管理事業と施設認証制度について」

北海道臨床衛生検査技師会：田上副会長

日本臨床衛生検査技師会(日臨技)では「精度保証施設認証制度」というものがあり、標準化され、かつ精度が十分保証されていると評価できる施設に対して精度保証施設として認



証している。道内では三大学の検査室を始め平成22年と23年の2年間で21の施設が認証を受けている。本制度の実施は、各検査室における精度保証に対する意識を高め、検査成績の標準化が進むことで検査の品質が向上し、日本の医療の質向上につなげるねらいがある。しかし、標準物質や管理試料は高価なもので長期に高品質な精度を維持することは経済的に厳しいため、今後は日臨技主催の事業が国家的事業として認められ、精度保証に関する業務が診療報酬に反映されるよう活動していく。診療報酬に反映させるためには、認証施設が数千施設できること、全国的な活動であること、教育・研修体制が確立されていること等が必要となってくる。精度保証施設としての認証基準は「日臨技主催の外部精度管理の調査成績」「臨床検査データ標準化の実践」「人的資源」の要件を満たさなければならない。認証されたからの更新は原則2年ごととなっており、認証基準については再評価する。

北海道臨床衛生検査技師会においても精度管理事業に取り組み、検査標準化による医療貢献を目指していきたい。

(2)「消化器内視鏡技師の実態」

北海道消化器内視鏡技師会事務局：佐藤氏

消化器内視鏡技師とは、日本消化器内視鏡学会の資格試験により認定された技師で、看護師や医療技術者が多い。国家認定の医療関連者法定免許を有する第1種消化器内視鏡技師



と都道府県知事認定の第2種消化器内視鏡技師とがある。消化器内視鏡技師は、厚生労働省・都道府県知事免許で認められた医療行為の範囲内で内視鏡および関連器械の管理、補助、整備、修理あるいは患者の看護と検査医の介助ならびに事務業務、検査予約、オリエンテーション、資料の管理保存および関連業務などを行う。消化器内視鏡診療に関わる前処

置、洗浄・消毒、機器管理、検査・治療の介助も行うスペシャリストである。

日本消化器内視鏡技師会は、全国11支部から構成されており8つの委員会が存在し、消化器内視鏡業務の国家認定を目指して、平成22年より消化器内視鏡技師業務標準化研究会を立ち上げた。また、学会・研修会などを定期的に開催して業務に関わる者の知識・練度向上を図り、国家認定化への道を検討している。北海道消化器内視鏡技師会は、定期総会と機器取扱講習、ハンズオンセミナー、研究発表会、集中講義を地方で開催している。現在の会員数は1,000名を超えている。

内視鏡治療は日本の医療の進歩に伴い、急速に高度な知識と熟練を要する分野に突入した。地方では医師不足が深刻であるが、内視鏡治療は行わなければならない。特に胆膵分野や早期癌での治療では医師の右腕としての介助を担う場面が多くある。しかし、看護職種が多いのでローテーションが熟練を阻む場合が後を絶たないというのが現状であり、今後の課題といえる。

(3)「北海道診療情報管理研究会の活動について」
北海道診療情報管理研究会：初山幹事

本研究会は昭和58年に北海道診療録管理研究会の名称で発足し、平成21年度に北海道診療情報管理研究会に名称が変更された。北海道における診療情報管理の発展ならびに従事する者の資質向上を図ることを活動目的にし、年4回の学術集会や各種セミナーを開催している。主な活動内容としては、がん登録セミナーを年3回開催し、講義でデータ分析のトレーニングを行っている。また、年3～4回開催しているデータベースセミナーでは、データ分析手法について講義するとともにカルテ管理データベースの作成を周知した。北海道に



における診療情報管理士の卒後教育を実質的に担っているのが本研究会である。

診療情報管理士とは、診療記録および情報を適切に管理し、データを加工・分析・編集し活用することで医療の安全管理・質の向上・病院の経営管理に寄与する専門的な職業である。四病院団体協議会（日本病院会・全日本病院協会・日本医療法人協会・日本精神科病院協会）と医療研修推進財団とで認定を行っている。道内には大学で1校、専門学校で5校の養成校がある

本研究会は、地道な活動を通して病院に貢献できるよう今後も活動を続けていきたい。



今回は『北海道精神保健福祉士協会・北海道医療ソーシャルワーカー協会・北海道臨床心理士会』のグループと『北海道歯科医師会・北海道歯科技工士会・北海道歯科衛生士会』のグループが話題提供担当である。



懇親会風景

本年度より、北海道歯科医師会・北海道歯科技工士会・北海道歯科衛生士会に参画いただいた。少子・超高齢社会を迎えた今日、医療・福祉関係ならびに歯科系に関わる職能団体との連携は必要不可欠となってくる。本懇談会を通して、各団体間の連携を深めることで北海道の医療ならびに福祉の発展につなげていきたい。

出席者名簿

団体名	役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名	役職名	氏名
北海道看護協会	会長	平山 妙子	北海道ホームヘルプサービス協議会	副会長	力徳キヨ子	北海道臨床工学士会	事務局長	大宮 裕樹	北海道歯科技工士会	会長	杉岡 範明
	常任理事	高橋 結子		事務局	片山みゆき		理事	柴田 晴昭		事務理事	藤原 照幾
北海道助産師会	代表理事	高室 典子	北海道栄養士会	会長	山部 秀子	日本義肢協会北海道支部	支部長	安田 義幸	北海道歯科衛生士会	会長	武藤 智美
	理事	東 紀子		常務理事	鈴木 敬子		会長	山口 謙二		副会長	木本恵美子
日本精神科看護技術協会北海道支部	事務局長	平 信二	北海道柔道整復師会	会長	萩原 正和	北海道消化器内視鏡技師会	事務局	佐藤 貴幸		会長	長瀬 清
	事務局次長	上山 敏文		副会長	加藤 隆		相談役	相馬 和幸		副会長	畑 俊一
北海道理学療法士会	会長	太田 誠	北海道鍼灸師会	会長	大湊隆次郎	北海道診療情報管理研究会	会長	中村 博彦		副会長	三宅 直樹
	事務局長	柿澤 雅史		副会長	渡辺 範昭		幹事	初山 真		副会長	宮本 慎一
全国病院理学療法協会北海道会	副会長	大山 幸蔵	北海道鍼灸マッサージ師会	副会長	水上 弘祥	北海道精神保健福祉士協会	事務局	吉田 貴澄	北海道医師会	常任理事	藤井 美穂
	副会長	住友 正広		札幌地区代表理事	朝倉 正博		事務局長	小嶋 健二		常任理事	北野 明宣
北海道作業療法士会	副会長	仙石 泰仁	北海道放射線技師会	会長	坂東 道夫	北海道医療ソーシャルワーカー協会	副会長	星野由利子		事務局長	馬影 哲児
	副会長	吉岡 英章		副会長	石岡 亮		副会長	中山 礼奈		事業第五課長	若松 淳一
北海道薬剤師会	副会長	竹内 伸仁	日本細胞診断学推進協会細胞検査士会北海道支部	会長	中村 厚志	北海道臨床心理士会	医療保健担当理事	小笠原雅美		事業第五課長補佐	小林 淳子
	事務局事業 兼主任	田澤 香織		総務委員長	野崎 正行		専務理事	紺野 純一		事業第五課主事補	小山内智章
北海道病院薬剤師会	会長	井関 健	北海道臨床衛生検査技師会	副会長	田上 稔	北海道歯科医師会	常務理事	馬場 宏治			
北海道介護福祉士会	副会長	福島 義典		常務理事	三浦 玲子		事業課長	田澤 康明			